

マチャプチと二葉山

小島正雄

「1月23日10時からモハニの会があります」と会長さんから電話があった。去年のデザインのことを書くことになっているが、そうでなくともよい、ということだった。また何日かあったので「わかりました」と答えた。そうこうしているうちにあっという間に、その時がきた。

このところ毎日が激動の連続である。私の家の隣はダンスホールができ、老若男女が出入りする。一軒先の2階建ての家も、今度は15階建てのビルになる工事で、朝からドンジャラドンジャラやっている。

12月は27日間ネパールに行ってきたが、帰ってみると広島の様子が変わっている。1月10日牛田東区の住民のSOSが私の所へ発信され、現地を見て驚いた。二葉山の裏側は現在も宅地造成中なのだ。そこにトンネル工事が入り込んでいる予定。まだ出来上がっていない宅地造成の現場が寒々しかった。



ネパールでメタセコイアの植樹を思いついたのは1991年の1月、広島の木を守る運動をするだけでなく、アジアの国でも始めたいと思ったからだ。広島にグリーンマザーという植樹団体があり、その青写真にインド・バングラデシュ・ネパールにこの木を植えようといううたい文句があった。3つの国は無理なので、ネパールを選んだ。ネパールは私の尊敬する釈尊の生誕の地、ルンビニがあり、世界最高峰のヒマラヤ山脈がある。

植樹の基点、ポカラには、92年3月に行った。そこから見えるマチャプチは7000mには足りないが、人が近づいてはいけない、登ってはいけない山とされている。この国の人は、この山を神聖な大としている。この国にきてそういうことを学んだが...それと二葉山は比べるべきものではないが、いくら小さくても、この二葉山が傷ついているのを見ることはできない。つらい...ほおってはおけないと考えている。

この度のネパール行きはブラディ君の結婚式参列のためだった。モハニの会からもお祝い金をいただいたので、お渡ししておき、ブラディ君からは、皆さんによろしくとのことでした。

結婚式は盛大で、その準備から終わるまで一ヶ月とはいわず、3ヶ月ぐらいはかかったのではと思った。親類縁者がみな遠いので行ったり帰ったり、泊まったり大変だった。